

寅年

2022

年男・年女インタビュー!



2022年は寅年です。
新しい年の始まりに
寅年生まれの皆さんに質問!
心新たに始まる2022年が
さらに素敵な1年になりますように。

周りから学ぶ。継続は力なり

震災からあつという間に10年。父が守ってくれた仕事を受継ぎ、白石自動車整備工場の代表取締役になって丸1年。驚くほどあつという間に過ぎ去った1年でした。今は3人の子どもの生まれ、親としての責任を強く感じています。現在は、こども園のPTA活動や商工会青年部、村のイベントなどに積極的に参加するようにしています。周りの方から学ぶことがたくさんあり、人をよく見て良いところをたくさん吸収し、何事も前向きに考えるように心がけています。



寅年
昭和61年
生まれ

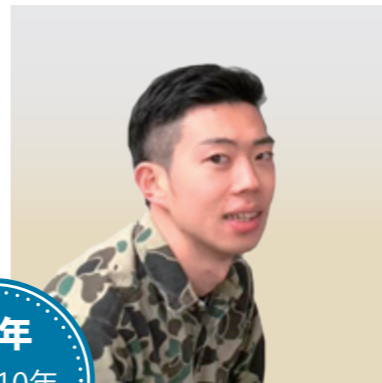
高橋 匠さん
(上飯樋)

新しい年にやってみたいことは

今年こそ、たくさん身体を動かしていきたいです。昔からとにかくスポーツが大好きでしたが、最近はずっと身体を動かさず、子どもと少し遊んだだけで疲れてしまい、体力の衰えに愕然としました。村でやっているクラブやイベントに参加して、積極的に身体を動かしていきたいです。

未来の村に期待することは

村長のもと、村の若い力を最大限に生かし、村でチャレンジしたいという若年層の方々への環境づくりがさらに構築されたいな、という思いがあります。惜しみなく協力してくれる事業所や村民の方が、たくさんいると思います。村を守ってくれた高齢者の方々に安心させるためにも。



寅年
平成10年
生まれ

菅野 龍(りょう)さん
(草野)

夢をかなえて恩返しをしたい

教員を目指して大学に進学しましたが、その後のいろいろな体験を通して英語に興味を持つようになりました。現在も学生で、英語を生かせる仕事につきたいと考えています。もともと1人で旅をすることが好きで、国内を旅行する間に外国の人と出会う機会があり、英語をもっと話せたらと感じるようになったことがきっかけです。現代を生きていく中で、日本語だけ、日本人とだけ話しているより、きっと人生が豊かになる、英語を使えるようになりたいと思っています。

新しい年にやってみたいことは

新しい年一。変異株が現れて新型コロナウイルス感染症の第6波が来るのではないかと懸念されていますが、コロナの状況が徐々に落ち着けば、遠出もできるようになるでしょう。そうなったら旅に出たいですね。まずは関西方面に行ってみようと思います。旅の本などには出ていない場所を歩いて、出会いを楽しみたいです。

未来の村に期待することは

自然の中で遊んだ小さな頃の思い出が今も心に強く残っています。催しもたくさんあって、他の小学校の人とも友達になれる憩いの場だったことを覚えています。今は様々な難しさもあると思いますが、さらに活気あふれる村になってほしいですね。僕自身、目標は変化しましたが、どんな形であれ村への恩返しをしていきたいと思っています。